

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

姉妹に行きたいと考えた上、元々メディア関係に興味があったことと
将来就きたい職業で使える照明なども学ぶことが出来て、さらに
学校の雰囲気も良く自分のしたい勉強が出来るように感じたから。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕 苦手な英語の基礎的な文法をひたすら解いてきた上に得意な数学をやった
モチベーションを保っていました。公募推薦も考えていたのが英語と数学を中心に
勉強していました。とにかく早く苦手な英語を克服したかったので学校で購入
した参考書の問題を解いてわからないところの解説をしっかりと読んでいました。

〔夏休み〕 塾の夏期講習を利用して少しでも長く勉強できるようにしていました。夏休み中も
英文法を中心に参考書を解いて、単語などを調べながら和訳お等していました。
"この日まで"に"ここまで終わらせる"という小さい目標を決めてやることで
達成感を少しずつ感じながら出来ました。数学も学校で使っていた問題
集を使い一度解いた問題をもう一度解き、その類似問題も解くというように
定着させました。

〔2学期～入試直前〕 同志社女子大学で明らかに過去問を時間を計って解いていました。
解説などについていないので高校の先生に聞きにいった対策をして
いました。過去問を解いた時に時間をかければ解けるのか、知識が足りていない
のかを見極めることが大切だと思っています。英語は基本的な文法が多いので最後まで
基礎から標準レベルの文法を解いてました。また過去問で読めなかったところは一
さりとて質問に行くと出来ないところを埋めました。数学は時間以内に
解けなかったところは時間をかけて別で解き、分からなかったら調べた問題本番で
解けるように考えようにしていました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

学校行事はメリハリを大切にしっかりと楽しみました。健康面では夜遅くまで勉強しても
次の日の集中力が落ちるだけなのでしっかりと睡眠をとっていました。テレビは本当に観たいもの
だけ観るけどその日のそのテレビまでこの課題が出来たら観ると決めて観ていました。
スマートフォンはYoutubeなどの動画アプリは消してどうしても観たい時のみインストール又は
インターネットで検索して観るようにしていました。また、スランプの時は学校や
塾の先生に話を聞いてもらったり、高校や塾の友達と励ましあってモチベーションを
上げていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

少しでも早くから勉強あることが大切だと思います。いきなり勉強時間を増やしても
難しいので少しずつでもいいので勉強時間を増やすように1日、1日を大切にしていって
応用問題を扱くなると思えば焦らず基礎から固めることが一番大切なこと
だと思います。